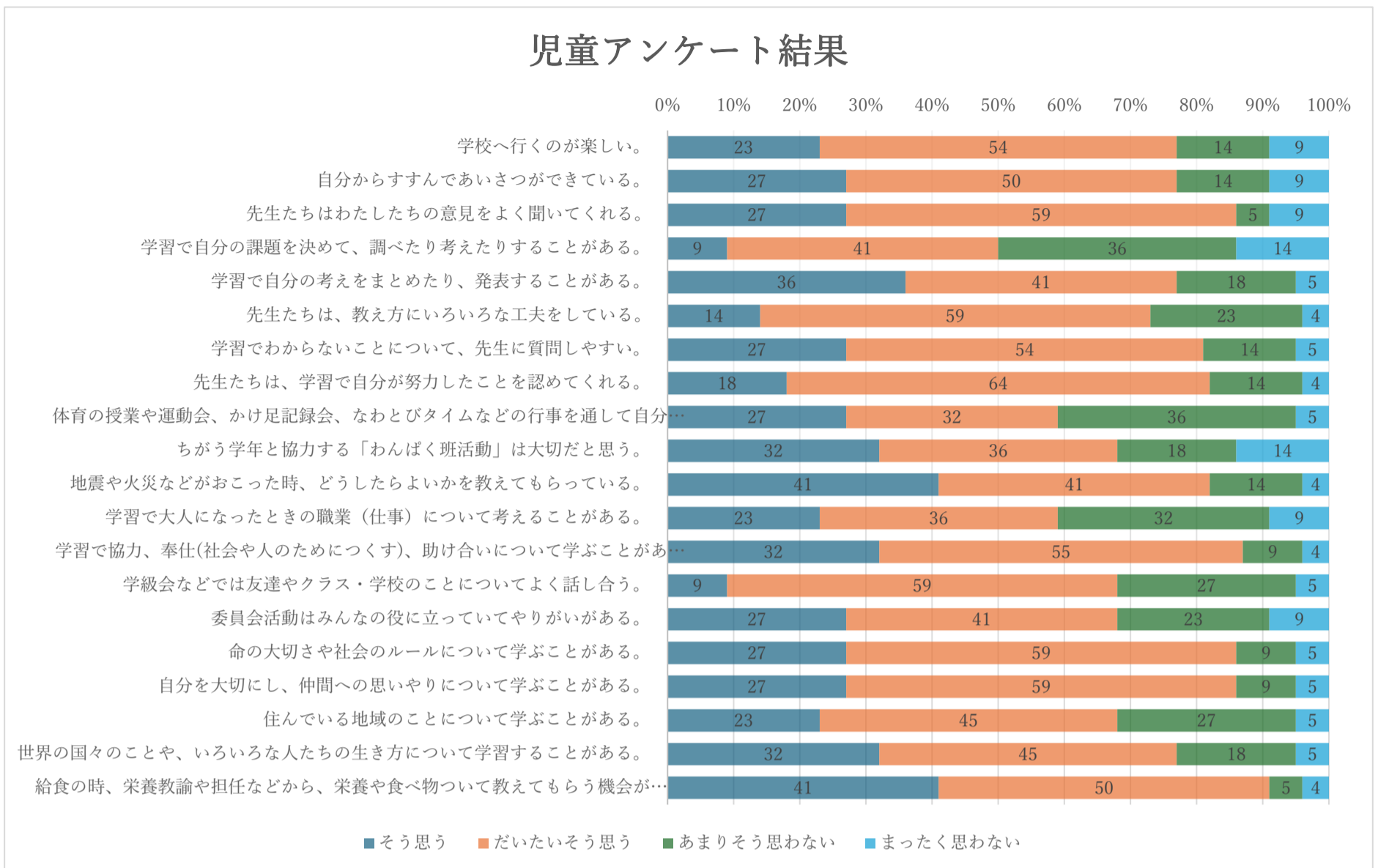


令和7年度（2025）学校教育アンケート（児童アンケート結果）考察



児童アンケート結果の考察についてお伝えします。

一番肯定的評価が高かったのは、「⑳給食の時、栄養教諭や担任などから、栄養や食べ物について教えてもらう機会がある」という項目で、90%以上の児童が肯定的な回答をしました。これは、日頃から栄養教諭中心に、給食の時の話や授業内の食育活動が、児童にしっかりと浸透しているからであると思います。

次に肯定的評価が高かった項目は、「③先生たちはわたしたちの意見をよく聞いてくれる」「③学習で協力、奉仕(社会や人のためにつくす)助け合いについて学ぶことがある」「⑯命の大切さや社会のルールについて学ぶことがある」「⑰自分を大切にし、仲間への思いやりについて学ぶことがある」で、いずれも85%以上の肯定的評価を得た。子どもたちの意見をよく聞いていることや、奉仕や助け合い、命の大切さや仲間への思いやりを学んでいるという回答が多かったことは非常にうれしく思います。子どもたちの豊かな心を育むために、今後もそういった内容の学習には力を入れていきたいと思っています。

最も肯定的評価が低かったのは「④学習で自分の課題を決めて、調べたり考えたりすることがある」で、50%しか肯定的評価がありませんでした。今年度SE事業で探究学習に取り組んだり、日頃から考える授業に取り組んでいますが、まだまだ課題を決めて考えることはできていないようです。これから、今まで以上に探究学習に取り組んでいくことになると思うので、子どもたち自身が意識できるように授業の中に調べたり考えたりする活動を取り入れて進めていきたいと思っています。

その次に肯定的評価が低かった項目は、「⑨体育の授業や運動会、かけ足記録会、なわとびタイムなどの行事を通して自分の体力がついてきたと思う」「⑫学習で大人になった時の職業(仕事)について考えることがある」の2つで、肯定的評価は60%未満となりました。学校で取り組んでいる体育行事を行っていても、自分自身に体力がついていないと感じているようです。体力づくりは健康的な身体を育成するうえでとても大切なので、今後しっかりと取り組んでいきたいと思っています。また、学習の中で将来の職業や仕事について考えることがあまりできていないのかもしれませんが。キャリア教育について、意識して取り組めるようにしていきたいと思っています。

子どもたちの自由記述(別紙参照)については、「赤阪小学校の教育や学校生活をよりよいものにするため」の意見を募りましたが、本当に学校の教育や学校生活がよりよいものになるための意見なのか、読んでいて疑問を感じるような意見もたくさんありました。みんなが安心して学習できるように大切なことは何なのか、しっかりと考えていってほしいと思いました。出てきた意見は、先生たちで読み取って、よりよい学校づくりの参考にしていきたいと思っています。